

第二東西連絡道路整備工事説明会の開催状況について

1 日時・会場・来場者数

日時	会場	来場者数
令和元年 11 月 17 日 (日) 18:00~19:30	品川シーズンテラス カンファレンスルーム	116 人
令和元年 11 月 19 日 (火) 18:30~20:00		150 人

2 説明内容

- (1) 整備の目的
- (2) 第二東西連絡道路の整備概要
- (3) 整備工事の進め方
- (4) 自動車通行止め及び歩行者通路について
- (5) 品川駅周辺の基盤整備

3 主なご質問やご意見

●第二東西連絡道路の計画や構造について

- Q 令和 8 年までは自転車は押し歩きとのことだが、完成後の歩道では自転車に乗って通行することは可能か。
- A 自転車は、車道通行を考えています。歩道を通行する場合は、押し歩きしていただくこととなります。
- Q 第二東西連絡道路の現在と将来の自動車交通量はどの程度か。
- A 平成 29 年の調査では、自動車交通量は 2000 台/日となっています。将来交通量は環状第 4 号線の整備により一定程度分散されるため、完成する令和 14 年以降は 1000 台/日と見込んでいます。
- Q 現在の道路は、大雨が降ると通行止めになるが、第二東西連絡道路は、大雨でも通行可能か。
- A これまでより排水機能は向上するものの、昨今の短時間の大雨時には冠水する可能性はあります。その場合は、これまで通り、出入口にある案内表示等により利用者へ周知する予定です。
- Q 第一京浜との交差点形状はどうなるのか。信号機は設置されるのか。
- A 信号機設置の予定はありません。これまで通り、第一京浜から来る車両は左折インとなり、第一京浜へ出る車両は左折アウトのみとなります。
- Q 令和 2 年～6 年の期間における第二東西連絡道路から高輪ゲートウェイ駅までのアクセスはどのようになるのか。
- A 第二東西連絡道路から国道 15 号に出た後、泉岳寺交差点に新たに整備される補助第 332 号線（特別区道第 1, 193 号線）を通るルートとなります。

●第二東西連絡道路の工事について

Q 工期が長くなる理由はなぜか。

A 放水きよの撤去に時間がかかることや狭い空間での工事となるため大型の重機が入らないこと、鉄道直下での工事のため工事時間帯が限られることなどから長期間の工事となります。

Q 工事期間中の車両の動線はどうなるのか。

A 現在の車両動線と同様に、現在ある道路から出入りする予定です。

Q 工事の時間帯はどうなるのか。

A 鉄道直下の工事は、終電後から始発までの間となりますが、鉄道の運行に影響しない地上部の工事は、昼間の工事を予定しています。

Q 仮設通路内を夜間歩くことに不安を抱くため安全対策を検討してほしい。

A 仮設通路内に照明を設置し、明るさを確保します。また、夜間の利用状況をよっては、夜間時における仮設通路の閉鎖を検討します。

Q 仮設通路の高さはどの程度か。

A 仮設通路の高さは、現道の一部区間では同程度の高さとなりますが、放水きよの区間では現状以上の高さを確保する予定です。

●周辺のまちづくりについて

Q 新駅東側連絡通路ではバリアフリー動線は確保されるのか。

A エレベーターやエスカレーターによりバリアフリー対応を予定しています。

Q 東側連絡道路が旧海岸通りまで繋がる構想はあるのか。

A 現時点で予定はありません。